

スポーツと秋

最近話題を呼んだ日本人同士のボクシング世界選手権試合。チャンピオン内藤選手対挑戦者亀田選手は、視聴率からいけば興行としては大成功だったようだ。私もテレビに釘付けとなっていた。だが、誰しもが感じたように実に後味の悪い試合だった。その最大のポイントには、挑戦者亀田の明らかなルール違反とマナー違反にある。と、まあここまででは新聞・テレビで散々言われていることである。私も同感である。だが、ボクシングを離して十八歳の亀田という少年をちよつとだけ弁護すれば、昨今、同年代の犯す凶悪犯罪が頻繁に発生している中、ボクシングでいかに悪たれをつこうが可愛いものである。宮本村の悪童タケゾーも宮本武蔵に成長した。でもテレビで見る限り亀田は実に小憎らしい。だから話題を変えろ。

秋は色んなことばで言い表される。「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」、「人恋うる秋」等々。そこでお題は、「スポーツの秋」から少しもじ

った「スポーツと秋」に。ここ数年間、ふたりの爽やかな「あい」ちゃんゴルフの宮里藍ちゃんと卓球の福原愛ちゃんだ。ゴルフにくらべ卓球は地味なスポーツである。ネクラと称されたこともある。しかし、愛ちゃんの出現で大きく変わってきたように思う。ここからは、その卓球での話に絞る。

舞台は四十数年前にタイムスリップ。私は中学から高校にかけて六年間卓球をやっていた。中学でとりこになり、そしてこれに輪をかけたような高校時代を過ごした。加茂から新潟の学校までおよそ一時間の電車通学。朝は六時台の電車に乗り、帰宅は夜八時前後。正月の数日間とテスト期間中の強制的休部以外は、日曜祭日といえども練習に明け暮れた。が下級生を指導する、この順送りで伝統が受け継がれていた。当時は先輩後輩の上下関係が厳しく、たとえば部室でたむろ出来るのは二年生以上であり、専用の卓球場にある。ステージに座れるのもしか

練習している卓球台の後ろで一年間黙々と球拾いをやるのが慣習だった。しかも、その対応が悪いと難癖つけられては部屋に呼びこまれての正座説教は日常茶飯事。それに、夏休みまでは砂浜でのランニングや筋力トレーニングだけでボールを打つことは許されない。せいぜい素振りの練習だけだ。

かくして春から夏にかけて多くの新入生は脱落していくことになる。残った同期生は僅か十二人だった。この中に小柄の丸顔で目のクリツとしたM君がいた。ようやく卓球台での練習が許された夏の終わりに頃、彼の姿は、ボールがラケットを逃げているかの哀れな状態だった。私たちが同期には偶然にも各中学のキャプテンが五人も揃っていた。その中でM君の非力さが目立つことは致し方なかったろう。

彼は、中学時代野球をやっていたが、入学当時身体が小さかったため高校での正選手は無理だと考え卓球に転向したのだ。余談だが、三年の夏、野球部は甲子園に出場した。野球を続けていたら甲子

園に行けたのに」と言うのとチョットだけ悔しい表情を見せていた。

全くの白紙状態で卓球に取り組んだM君であるが、驚いたことに二年生の秋にはもう部内の上位グループに近づいていった。そして三年生春の県大会個人戦では一回戦二回戦：と勝ち進み、あと一試合勝てば全国大会に出場できるというところまでいった。秋には団体戦で県大会優勝の原動力となっていたのである。まるで作物が満を持して実るように、彼の實力は、秋毎に熟成した。

後年、上達の秘訣を尋ねた。

「球拾いをしているとき先輩のフットワークを見比べながら、フォームやボールの打球点を比べていながら、どうすれば良いのかを考えていた」さらに、「追いつき追い越せでターゲットをひとりずつ選んだ。その中にお前もいたんだ」と茶目つ気たっぷりに語ってくれた。

「残念ながら私は「球を拾う」ことだけに目を向けていた。この視点の違いが二年後彼との差となって現れていたのだ」と

る。スポーツは優勝劣敗がはつきりして
る。喜びを味わうのは一人・一団であ
る。その他大勢はみな悔し涙を流すわ
だが、日が経つにつれ負けは負けと気持
ちの整理が出来来る。だから爽やかな
もしれない。スポーツに限らず、子供時
代に勝ち負けを経験できた方が人生タフ
に過ごせると思うのだが、現
実はなかなか……。
ところ、その後のM君であるが社会人
になつてからも技を磨き、強豪の揃う神
奈川県の実業団で活躍。全国大会にも進
んだ。
今、彼の住まいは、潮香も漂う湘南の
公園の中。芝生で綺麗に整地されたその
一角に建つ。先生、綺麗に整地されたそ
の地を訪ねた。二年、同期生数人と共にそ
し、ガンで旅立ったのは三歳の秋。四
半世紀も歳月を胸に黙して語らぬM君
と久しぶりの歳月を胸に黙して語らぬM君
つた彼の墓碑に刻まれた「愛」の文字が
陽に映えていた。
墓地は、今日も穏やかな秋の陽差しに包
まれて、今日も穏やかな秋の陽差しに包